

韓国小説の日本語翻訳に見られる女性登場人物の言葉遣いに関する一考察

女性ジェンダ-標示形式の使用を中心に

郭 銀 心*

(e-mail: kwak5017@naver.com)

目 次

1. はじめに
 2. 分析の対象
 3. 女性ジェンダ-標示形式の使用様相
 - 3.1 翻訳作品に見られる女性ジェンダ-標示形式の使用状況
 - 3.2 女性ジェンダ-標示形式の機能と選択要因
 - 3.3 女性ジェンダ-標示形式の常用がキャラクターに与える影響
 4. まとめと今後の課題
-

1. はじめに

我々は映画やドラマなどの映像を見た時に登場人物の容姿をもとに男女の区別をすることができる。また、ラジオのように音声だけをたよりにする媒体においても、人物の声や話し方を聞くと容易に性別が判断できる。しかし、小説やシナリオなど文字化されたテキストではどうだろうか。次の発話を読んでいただきたい。

(1)A: 뭐라도 해봐야 할 거 아니야. 그럼 이대로 죽 살아?

B: 그쪽은 손해 볼 일 없잖아!

A: 그래? 그럼 어차피 이렇게 된 거, 돈 많은 남자로 한번 살아볼까?

*중앙대학교 아시아문화학부, 시간강사, 사회언어학

그럼 그쪽은 가난하고 소외된 이웃으로 살겠네?

B: 웃어? 웃음이 나와?

A: 나야 손해 볼 게 없으니까. 생년월일이 어떻게 돼?

B: 생년월일은 또 왜!

上記の会話を読んでAとBの性別が判断できるだろうか。韓国語は言語的性差が非常に小さい言語とされており、性差を判断する手がかりとなるジェンダ-標示形式が少ない。特にぞんざいな言葉遣いをする場合には、文法的特徴における性差はほとんど見られなくなる。これに対して、日本語は性差の大きい言語であり、人称代名詞・文末詞・感嘆詞などがジェンダ-標示形式として機能する。

(2)A: 何か試さないはずっとこのままでしょ。

B: 君は損することはない。

A: 同感よ。私はこれから金持ちの男として生きるわ。でも、あんたは“不遇な隣人”になるのね。

B: よく笑えるな。

A: 私に損はないもの。生年月日を教えて。

B: 何のために？

上記の会話(2)は、(1)を日本語に翻訳したものである。(2)を読めば大概の人はAが女性でBが男性であることがわかるだろう。Aからは人称代名詞「私」と文末詞「よ、わ、のね」などが、Bからは人称代名詞「僕、君」と文末詞「な」がジェンダ-標示形式となり、性別を判断することができる。

このように韓国語から日本語に翻訳すると、ジェンダ-標示形式を使うことで性差を簡単に表すことができる。一見すると、これはとても便利な日本語の特徴であるが、実際の話し言葉においては性差が減り、男女共に中立化していく傾向があることを近年の研究では報告している。従来女性は相手との心的距離を縮めようとするため「わ」「の」などを使うことで、男性に比べて丁寧な言い回しをする(マグロイン・花岡、1997)と言われており、文末詞の中でも「わ」「かしら」は典型的な女性語として認識されていた。しかし、ここ20年間の話し言葉の調査によると、20-30代の若い女性たちは女性文末詞を使用する割合が減り、年齢が下がるにつれて言語における性差は減少する傾向にあるという(小林、1993; 水本、2006; 水本、2010など)。家庭内の日常会話を調査した小林(1993)は、20代の娘世代は母親たちよりも女性語的特質を持たず「中性化」していると指摘している。また、職場における女性たちの会話を調査した尾崎(1997)は、従来女性語の典型とされていた「わ」の使用が実際の会話では極めて少なく、「だわ」はもはや死語に近づきあると報告

している。中島(1997)も、「わよ、わね」などの「わ系」や「かしら」は衰退傾向にあり、「かな、かね、だよね」などの中立的表現が女性にも使用される傾向があると述べている。そして、水本(2006)は、首都圏在住の20-40代の女性30名を対象に話し言葉を調査し、女性文末詞の使用実態を世代別に分析した。その結果、各世代ともに使用されているのは、「のね」と「の(非疑問形)」であり、「のよ」と「体言+よ」は世代が下るにつれて使用が減り、20代では消滅しているという。また、「体言+ね」「かしら」も同様の傾向であると述べている。

一方、ドラマや小説などフィクションの世界ではどうだろうか。水本(2005)は2003年から2004年に放送されたテレビドラマに登場する女性たちの言葉遣いを調査した。10代半ばから30代半ばまでの計56名の言葉遣いを筆記記録し、年代別、文末詞別の使用率を算出した。その結果、最も頻繁に女性文末詞を用いるのは30代前半の女性であり(96.1%)、20代では76.3%、10代の高校生や大学生たちでもその比率は70.0%を占めていることが明らかになった。つまり、テレビドラマの中では、今もなお若い女性たちに従来の女性文末詞を使用させる傾向が強いのである。しかし、小説に関して言えば、最近では女性が必ずしも女性形を使用していない作品も多く出現しており、特に20代、30代である女性作家の作品でその傾向が強いと、山路(2006)は述べている。

では、外国語を日本語に翻訳した作品にはどのような傾向が見られるだろうか。中村(2013)は、新聞記事、映画の吹き替え、小説の翻訳の中で女性たちが女性語を使い続けていることを指摘し、特に小説においては、「一九五七年に邦訳された『風と共に去りぬ』から、一九九九年の『ハリー・ポッターと賢者の石』、そして、二〇〇六年に新訳された『カラマーゾフの兄弟』まで、実に長期間、ヒロインのことは、その人物の年齢や言語、作品の背景に関わりなく、女らしい女ことばに翻訳されてきた(前掲：16)」と述べている。このように翻訳作品の中では現在も女性たちに女性語を使わせているのだが、登場人物たちが使用する女性語は果たして女性らしさだけを表現しているのだろうか。因(2007)は、翻訳・翻案マンガ作品における女性登場人物の言葉遣いを分析し、女性ジェンダー標示形式の使用がどのような要因に動機付けられ、何を指標しているかを検証した。因によると、女性ジェンダー標示形式が指標するものは必ずしも一定ではなく、女性ジェンダー標示形式の使用に選択性が見られる場合、選択を動機付ける要因には、個人の属性(年齢、社会経済的条件、個人的人格的素養)、言語行為の攻撃性の有無、発話者の表現意図などがあるという。

本稿では、韓国小説の日本語翻訳に見られる女性登場人物の言葉遣いを分析し、韓国語にはほとんど表れないジェンダー標示形式が日本語の翻訳作品では実際にどのように使用され、作品の中でどのような機能をしているのかについて考察を行う。

2. 分析の対象

本稿では、韓国語小説を日本語に翻訳した作品4種を対象に分析を行う。以下は、韓国語の原作テキスト(ST)とそれを日本語に翻訳した対訳テキスト(TT)である。

・現代を舞台にした文学作品

①ST 『엄마를 부탁해』(신경숙, 2008) 창비

TT 『母をお願い』(安宇植訳, 2011) 集英社

②ST 『오래된 정원(상, 하)』(황석영, 2000) 창작과 비평사

TT 『懐かしの庭(上、下)』(青柳優子訳, 2002) 岩波書店

・現代を舞台にしてシナリオをもとにした作品

③ST 『시크릿 가든(1, 2)』(강이을, 2010) 뮤진트리

TT 『シークレット・ガーデン(上、下)』(金暎姫訳, 2012) 竹書房

・朝鮮時代を舞台にした時代物

④ST 『해를 품은 달(1, 2)』(정은필, 2011) 파란미디어

TT 『太陽を抱く月(上、下)』(佐島顕子訳, 2012) 新書館

これらのテキストを対象とした理由は、女性登場人物の年齢、社会経済的条件、個人的人格的素養などの個人の属性が多様に見られるからである。①と②は作家の知名度が高い純文学に属する作品である。同じく現代を舞台にしている③は若い世代を中心にヒットしたテレビドラマのシナリオをもとにした小説であり、主に20代の男女が登場する比較的ライトな作品である。そして、④は史実をもとにした歴史小説ではなく、朝鮮時代を舞台にした作家オリジナルのフィクション作品である。因(2007)でも時代物を扱っているのだが、筆者が現代物だけでなく時代物を選択した理由には、過去の時代を舞台に登場する人物たちがどのような日本語を話しているのかを分析することで、現代物との比較ができるかもしれないと考えたからである。

そして、翻訳家について述べると、4名ともに日本人または在日2世の日本語ネイティブである。性別は男性が1名と女性が3名であり、翻訳当時の年齢は40代-60代、そして2010年に亡くなった安宇植氏が70代と、年齢層が広い。ここで翻訳家の年齢を取り上げたのは、翻訳家の年齢が女性ジェンダー-標示形式の使用に影響を与えるかという疑問がまず浮かび上がったからである。水本(2006)は、ドラマの脚本家について、その性別と年齢を調べ、彼らがドラマの中でどの年代の若い女性たちに女性文末詞を頻繁に使わせているかを観察した。調査の結果、女性文末詞の使用は脚本家の年齢に起因しているのかと言え

ば、そうでもないことが分かった。「例えば、30代の女性脚本家3名中2名は使用しているが、50代の女性脚本家は20代女性には使用させていない。従って、脚本家の年齢が必ずしも要因であるというわけではないと言える。むしろ、少なくとも男性脚本家全員が、これら三世代(10-30代)の若い女性達に女性文末詞を使わせていることから、男性脚本家のほうが、これらの世代の女性達が実社会においては女性文末詞を使っていないという現実に着目しない傾向があると思える(前掲：87)」と述べている。本稿では、男性翻訳家が1名しかいないので、性別に起因するかどうかは判断しかねるが、脚本家の年齢には起因しないという水本の結果をもとに、翻訳家にも同様の傾向が見られるのではないかと考えている。

以下では、各作品の内容と女性登場人物について簡略に述べておく。

①(以下、「엄마를」「母を」と称する)

内容：息子たちに会いにソウルに上京した母親(オンマ¹⁾)が地下鉄の駅で迷子になり、オンマを探そうとする家族の努力とオンマの不在によってその間感じることのできなかつた母と妻の大切さを知っていく過程を描いている。

登場人物：オンマ、長女、次女、長男の嫁、叔母(父の姉)、養護施設の職員

②(以下、「오래된」「懐かし」と称する)

内容：軍事独裁政権の時代に民主化運動をしていたヒョヌは、逃亡中に助けてくれた田舎の美術教師ユンヒと出会い恋に落ちる。二人はカルメという土地で3ヶ月余りを過ごした後、ヒョヌは再び闘争に加わる。そして、検挙され18年間の収監生活を送ることになるが、その間ユンヒは女の子を産み一人で育てながら不治の病で亡くなる。

登場人物：ユンヒ、ジョンヒ(ユンヒの妹)、ユンヒの母、ヒョヌの姉、ヒョヌの母、順天おばさん(大家)、マリー(ドイツ人)、ヘスンとミョンスン(民主化運動をする女工)

③(以下、「시크릿」「シークレット」と称する)

内容：アクション監督を夢見るスタントウーマンのライムは、大財閥の息子ジュウォンと最悪な出会いを果たしながらも二人は徐々に惹かれ合っていく。怪しげな食堂の女店主から貰った自家製の酒を飲んだ2人は、魂が入れ替わってしまうという驚愕の事態に陥るが後に真実の愛に目覚めていく。

登場人物：ライム、ユンスル(CF監督)、アヨン(ライムの親友)、ジュウォンの母、チェリン(新人女優)、ユンスルの友達

1) 日本語の対訳テキストでは、「母、母さん」を「オンマ(엄마)」と訳しているため、本稿ではそのまま「オンマ」と表記する。

④(以下、「해를 품」 「太陽を」と称する)

内容：高貴な兩班家に生まれたヨヌは、世子フンの初恋となり世子嬪(皇太子妃)に選ばれるが、摂関勢力の陰謀によって原因不明の病にかかり命を落とす。8年後、死んだはずのヨヌは、過去の記憶をすべて失い巫女のウォルとしてフンの前に現れる。王となったフンは、過去のヨヌの死に疑問を抱き調査を始めるが、やがて事件の真相を暴きヨヌと夫婦になる。

登場人物：ヨヌ(=ウォル)、ヨヌの母、ミンファ王女(フンの妹)、王妃(フンの正室)、大妃韓氏(フンの母)、唏嬪朴氏(陽明君の母)、大王大妃尹氏(フンの祖母)、朴氏夫人、ソル(ヨヌの守護人)、張氏都巫女、チャンシル(ヨヌの下人)、その他巫女と下人頭

3. 女性ジェンダ-標示形式の使用様相

3.1 翻訳作品に見られる女性ジェンダ-標示形式の使用状況

まず、登場人物の女性ジェンダ-標示形式²⁾の使用状況について見てみる。以下の〈表1〉では、女性ジェンダ-標示形式を常に使用していれば「常用」、常に使用していない場合でなければ「非常用」、一度も使用しない場合は「不使用」に分類し³⁾、人物別にその使用状況を表している。

〈表1〉 人物別の女性ジェンダ-標示形式の使用状況

作品	登場人物	常用	非常用	不使用
①母を	オンマ		くくくく	
	長女			
	次女			
	長男の嫁			
	叔母			
	養護施設の職員			
②懐かし	ユンヒ			
	ジョンヒ			
	ヘスン			
	ミョンスン			
	ヒョヌの姉			

2) 本稿では、文末詞を中心にして女性ジェンダ-標示形式を分析していく。女性専用の文末詞「わ、だわ、わね、わよ、かしら、体言+ね、体言+よ、のよ、のね、の(非疑問形)、もの、こと、てよ、でしょ」などを女性ジェンダ-標示形式とする。

3) 因(2007)は、女性ジェンダ-標示形式が単一的に使用されるのか、何らかの選択性が見られるのかに付けているが、本稿では「常用」「非常用」「不使用」の三つに分類する。

	ヒヨヌの母			
	順天おばさん			
	マリー			
③シークレット	ライム			
	アヨン			
	チェリン			
	ユンスル			
	ユンスルの友達			
④太陽を	ジュウォンの母			
	ヨヌ			
	ヨヌの母		>>>>	
	ミンファ王女			
	王妃			
	大妃韓氏			
	晞嬪朴氏			
	大王大妃尹氏			
	朴氏夫人		<<<<	
	ソル		>>>>	
	張氏都巫女			
	チャンシル			
	その他の巫女			
下人頭				

〈表1〉を見ると、女性の登場人物の多くが女性ジェンダ-標示形式を常用している。特に③では、年齢や社会経済的条件に関わらず全員が常用しており、女性ジェンダ-標示形式は女性であるなら必ず使うものとなっている。しかしながら、①、②、④の作品には不使用の人物もいる。また、①と④には非常用の人物が4名いるのだが、使用する割合が少なく不使用に近い場合は「<<<<」で表し、反対に使用する割合が多く常用に近い場合は「>>>>」で表した。不使用または不使用に近い非常用の人物には、年齢が高い、または社会的階層が低いという特徴が見られる。そして、常用または常用に近い非常用の人物は、年齢が若かったり、若くなくても社会的階層の高い場合がほとんどである。このように各翻訳作品に登場する女性たちは、単一的に女性ジェンダ-標示形式を使用することもあれば、人物のキャラクターや属性、または使用場面によって使い分ける場合もある。

3.2 女性ジェンダ-標示形式の機能と選択要因

女性ジェンダ-標示形式は「女性であること」を指標するものであり、社会によって作り上げられたステレオタイプ通りの性質を持つ女性であること、あるいは、そうであろうと志向する態度を表現するために多く用いられてきた(因、2007)。従来、女性のステレオタイプには「優しさ、美しさ、か弱さ」などが内包されており、このような特徴を表すために女性ジェン

ダ-標示形式は多用されてきたのである。

しかし一方で、水本他(2008)の研究によると、ドラマの中で女性文末詞を使わせる脚本家に対して女性文末詞を日常的に使う女性のステレオタイプを聞いてみたところ、知的職業、中流以上の主婦、世間知らずの箱入り娘、気取った女性、おかまのようなタイプに分類されるという。脚本家にとって女性文末詞は、このような登場人物像を特徴づけるある種のデフォルメの道具として使用されているのである。すなわち、女性ジェンダ-標示形式は、上品さ、優しさ、女性らしさというステレオタイプだけでなく、主張や嫌み、偉そうな態度、演技(女性らしく振る舞う)までも表し、使用する場面によっても異なるイメージを表現することができる道具なのだ。

上述の3.1では、女性登場人物の女性ジェンダ-標示形式の使用状況を把握し、常用、非常用、不使用の3タイプに分類した。ここでは、女性ジェンダ-標示形式の使用が、女性登場人物のキャラクターを特徴付けるのにどのような機能をしているのか、またその選択要因には何があるのかについて考察していく。

3.2.1 年齢

女性ジェンダ-標示形式の使用有無は、登場人物の年齢によって区別される傾向がある。〈表1〉を見ると、女性ジェンダ-標示形式を常用している人物のほとんどは、20-30代の若い世代から中年までの女性である。一方で、女性ジェンダ-標示形式を使用しない人物には、①「母を」の叔母、②「懐かし」のヒヨヌの母、④「太陽を」の大王大妃尹氏と張氏都巫女がいる。この人物たちは老年⁴⁾の女性であり、いずれも「だよ、だい、か(い)、かね」などの中立的あるいはやや男性的な文末詞を用いている。

(3)叔母

何だ、たばこは止めたんじゃないの^か? (母を 204)

あたしが生きてたって、この先どれくらい生きていられるというの^{かね}。 (母を 207)

(4)ヒヨヌの母

お前、どこに行ってたん^{だい}? ご飯はちゃんと食べてたの? どっか体の具合い、悪いところはな^いん^だらう^ね? (中略)でも、あまりひどいことにならないように終わってくれたらっていうのが私の願^いなん^だよ。お前の弟のこともちょっと考えて^{おくれ}。アメリカに行くんだって。また、行かなくちゃならないの^{かい}? (懐かし 上304)

4) 登場人物の年齢は、作品の中で明記されている場合が少ないため正確には判断し難いが、中年と老年の区別は60歳を基準にしている。また、孫がいる世代および作中で「老女、おばあさん」などの描写がある場合は、時代背景に関係なく老年として分類した。

(5)大王大妃尹氏

年をとって弱るのは、体よりも気持が先^だ。残るは後悔ばかり……。今まで挨拶に来なかったわけでもあるのか^か? (太陽を 上382)

(6)張氏都巫女

誰が都巫女^{だい}? わしはもうずっと前に辞めたん^だ。神力も尽きたし、この老いさらばえた身ひとつ保つのもやっとなん^{だよ}。(太陽を 上173)

老女の他に女性ジェンダ-標示形式を使用しない人物には、④「太陽を」のチャンシルがいる。チャンシルはまだ成熟していない10代の小娘である。チャンシルは他の女性たちが自称に「わたし」または「あたし」を使うのに対して、「あたい」を使用しており、多少乱暴な言葉遣いをしている。

(7)チャンシル

死ぬ方法ならいろいろある^{だろ}。酒飲んで死ぬなんて、一番死なないやり方^{じゃん}。もっと早くて確かな方法にし^{なよ}。(太陽を 上176)

チャンシルの例を見ると、女性ジェンダ-標示形式の使用には「若さ」という要素だけでなく、成熟した女性という条件が加わっているようである。

ところが、老年の女性でありながら非常用に分類された人物に①「母を」のオンマと④「太陽を」の朴氏夫人がいる。二人の発話には概ね「だい、かい」などのやや男性的な文末詞が使用されているが、部分的に「のよ」「かしら」「だわ⁵⁾」の使用が見られるため不使用に近い非常用に分類した。また、常用に近い非常用の人物に④「太陽を」のヨヌの母がいる。ヨヌの母は年齢的には中年なのだが、娘ヨヌに接する時の発話の中に「かい、だよ」などの使用が見られた。以上の三人は共に母親だという共通点があるが、息子や娘に対する発話には女性ジェンダ-標示形式ではなく「だい、かい」などのやや男性的な文末詞が使われている。水本(2006)は、男女両方に女性文末詞の使用に関する意識調査を行い、男性の回答では「女らしい大人の女性」というイメージが高かった反面、女性の回答では社会的により良い対人関係を保つための「丁寧語」としての認識が半数近く占めるという結果を報告している。特に40代以上の女性たちは、かえって「親し

5) ただし、①「母を」のオンマが使用する「だわ」は、下降調の「わ」と見られるため、女性ジェンダ-標示形式ではないと考えられる。

動物たちはそうじゃない^{かね}。牛も豚も……。おのれが病を患うと、ひとまず穀物につながるものは口にしないけど。鶏だってそう^{だわ}。(中略) どんなに美味しいものをやったって見向きもしないで、自分の小屋の前の地面を両脚でほじくり返しては、そこへ腹をあてがってうつ伏して^{たわ}。(母を 200)

い間では使わない」ようにし、「ソト」向けの言葉として女性文末詞を認識していることがわかった。つまり、女性文末詞の使用は女性らしさを表すと同時に、社会的対人関係を保つためのソト向けの言葉として機能しているのである。従って、母親という属性を持つ人物たちが女性ジェンダ-標示形式ではなく「だい、かい」などを使用したのは、母親にとって最もウチなる存在である子どもに対する親しみと愛情を表現するためだとも考えられるだろう。

そして、常用に近い非常用の人物の中には④「太陽を」のソルがいる。ソルは剣術に優れたボーイッシュな若い女性として描かれている。女性ジェンダ-標示形式の使用には選択性が見られ、聞き手や心的状況によって使い分けをしている。

(8)ソル

(男性の刺客に対して)

ひとりで練習したのよ。ちょっと似てるぐらい、偶然でしょ？それより剣を降ろしてよ。あたしの首が飛んだらどうするのよ。(太陽を 上348)

(身分の低い張氏都巫女に対して)

なんでそう憎まれ口ばかりたたくのさ。ほんとに可愛くない年よりだよ。(太陽を 下188)

(悲しい時)

あたしの顔を、ふくれっつらだと覚えてたの？下女の分際で若様の前で笑っちゃいけないことなんか、わかるわけないわよね。(太陽を 下41)

(くやしい時)

ちきしょう。もう血も乾ききっちゃまったか。(太陽を 下119)

3.2.2 上品さと丁寧さ

女性ジェンダ-標示形式を常用している人物には、女性らしさと上品さが表現されていることが多い。①、②、③の作品における女性ジェンダ-標示形式の単一的使用には、「女性であるならば女性ジェンダ-標示形式を必ず使うもの」となっており、人物の特定の属性と結び付けられているわけではない。しかし、女性ジェンダ-標示形式にさらなる加工をすることによって、より上品さと丁寧さをアピールすることができる。例えば、①「母を」では、失踪したオンマの自宅を訪問し心配する養護施設の職員の様子が描かれているが、初対面のオンマの夫に対して「丁寧体+の、わ」を使用することで上品さと丁寧さを表現している。しかしながら、現実の世界でこのような言葉遣いをすると、かなり気取った言い方になり聞き手が不自然に思うかもしれない。

(9) 養護施設の職員

あら、わたしは南山洞の希望園におります、ホン・テヒと申します。児童養護施設ですの。おばさんがあんまり長い間お見えにならないので、心配してたんですけど、これを見たものですから。(母を 161)

ええ、ギョンですわ。(母を 165)

そして、②「懐かし」の主人公であるユンヒは、「丁寧体+の、わ」だけでなく「丁寧体+もの、こと」を用いることによって、同作品の中で同じく女性ジェンダー-標示形式を常用する他の人物に比べて、より上品で古風なイメージを持つキャラクターとして描かれている。ユンヒの言葉遣いに関しては、拙稿(2014)でも言及しているが、ユンヒは激動する80-90年代の韓国社会でシングルマザーという道を選び、その後ドイツに留学するなど、自らの人生を頑な意志で貫く人物である。産まれも決して裕福な環境ではなく、知識人であり反体制的思想を持った父親を疎みながら育ち、やがて父親の苦悩を理解するようになる。ユンヒは美大を卒業した田舎の高校教師で、知性と教養を兼ね備えた人物として描写されているが、同じ環境で育った妹のジョンヒ(医者)よりさらに丁寧で上品な言葉遣いをしている。

(10) ユンヒ

画家の才能なんて、まったく信じられませんわ。(懐かし 上61)

おとうさんのような人たちを、悪魔のように思っていたんですもの。(懐かし 上160)

夏休みが終わるまではどこにも行けませんことよ。(懐かし 上278)

「丁寧+の、わ」や「こと」などの言葉遣いを金水(2003)が名付けた「お嬢様ことば」だとしたら、ユンヒはお嬢様キャラからはずれていると言えよう。しかし、この「お嬢様ことば」は、物語の舞台を現代の日本から切り離すと、人物と言葉遣いの間のずれが感じられなくなる。以下の(11)と(12)は、④「太陽を」のヨヌとミンファ王女の発話である。

(11) ヨヌ

不忠な方ですのね。わたしがどういう者かも、お酒に何が入っているかもわからないのに、お毒味をなさないんですの? (太陽を 上16)

それは不思議なことですの? 厄受巫女ですもの。抜け殻そのものですわ。

(太陽を 上199)

(12) ミンファ王女

でも、お兄様のお勉強の邪魔はしなく^{てよ}。あたし、とつてもとつても、おとなしくしてたもの。(太陽を 上74)

赤いものを唇に当てたいなら、赤いものは紅葉だけじゃなく^{てよ}。(太陽を 下36)

ヨヌは高貴な兩班家の娘で、世子(皇太子)が一目惚れした才色兼備の女性である。ヨヌの言葉遣いには、「丁寧体+の、わ」「丁寧体+もの」が見られる。また、ミンファ王女の言葉遣いには、文末に「てよ」の使用が見られる。この二人の人物は、金水(2003)で取り上げた漫画「ベルサイユのばら」⁶⁾のマリー・アントワネットに匹敵する完全なお嬢様だと言えよう。「ベルサイユのばら」は18世紀のフランス王朝時代を、④「太陽を」は朝鮮時代を舞台をしており、二作品とも過去の時代を背景にしたフィクション作品である。いずれも日本人ではない登場人物たちが、日本語でお嬢様キャラを演じている。しかし、これに対して違和感を感じる読者はあまりいないだろう。なぜならば、金水(2003: 170)が指摘しているように、「これらの作品は現代社会にあって「お嬢様」という存在が非現実的な幻想でしかないことをよく物語っており」、読者も仮想の世界を舞台にした物語だということを認識しているからである。このように女性ジェンダ-標示形式は上品さや丁寧さを表すだけでなく、さらに加工を施した「お嬢様ことば」を使わせることによって、人物のキャラクターをより特徴づける機能をしていると考えられる。

3.2.3 正統な育ちと行儀の良さ

女性ジェンダ-標示形式は、人物の育ちと行儀の良し悪しを判断する指標にもなっている。これが最もわかりやすく表れているのが④「太陽を」である。兩班家の生まれである主人公のヨヌ、そしてミンファ王女を含めた宮中の女性たちの中で若年から中年は、女性ジェンダ-標示形式を常用している。これに比べて、チャンシルをはじめとする身分の低い女性たちは、年齢に関係なく常用している人物はいない。剣客であるソルは常用に近い非常に分類されているが、生まれは奴婢であり身分が低い。

正統な育ちを代表する人物の中に若い王妃がいる。その発話を見ると、次のようである。

(13) 王妃

どうしてこんなことになってしまった^の……。わたしにも普通の結婚の夢があったのに。こんな宮中奥深く入ってしまったら、もうわたしの夢は叶わない^{だわ}。だって、わたしは王妃じゃないんだ^{もの}。(太陽を 下266)

6) 池田理代子(1972-1973)「ベルサイユのばら」『週刊マーガレット』集英社

一方、巫女や下女頭には、女性ジェンダ-標示形式を使用せず荒っぽい言葉遣いをさせることで身分の低さや行儀の悪さを表している。

(14)臨時都巫女

おまえは口がきけないの^か? きかないの^か? (太陽を 上185)

言った通り^だ。どっちかが張氏の神娘^{だろ}? 年の差からして、チャンシルがおまえの神娘ってことはある^{まい}。(太陽を 上199)

(15)下女頭

てめえはもともと、お嬢様のお世話をするために買われて来たん^だ。だがてめえの名前がお嬢様に良くないって、若様がソルに変えてくれたん^{だよ}。(太陽を 下44)

あっ、てめえ、若様に顔を見せるんじゃないよ! (太陽を 下44)

しかし、舞台を現代に移すと、この指標はうまく働かなくなる。①「母を」と②「懐かし」の二作品では、登場する人物はみな庶民であり、若年から中年の女性には女性ジェンダ-標示形式を常用させている。ただし、①「母を」のオンマと叔母が女性ジェンダ-標示形式を常用していないのは、田舎の老年女性というキャラクターが与えられているからであり、育ちの正統性や行儀の悪さには関係がないと考えられる。

そして、③「シークレット」では、主人公のライムとその友人であるアヨンが庶民であり、その他の人物は裕福層のセレブたちである。一見すると、現代社会においても社会経済的条件によって身分を分けることもできそうだが、③「シークレット」では一様に女性ジェンダ-標示形式を使わせている。つまり、この作品では女性ジェンダ-標示形式は無標となり、個人の育ちや社会経済的条件が影響を及ぼしているわけではない。

しかし、女性ジェンダ-標示形式の使用が個人的人格的素養を表す一つの要素として働く場合もあるようだ。次は、③「シークレット」に登場する富裕層の女性たちの言葉遣いについて見てみる。

3.2.4 発話行為の攻撃性

③「シークレット」に登場するチェリン、ユンスル、ユンスルの友人、ジュウォンの母は、みな裕福層の女性たちであり、主人公のライムを敵対視する人物たちである。まず、自分の代役として活躍するスタントウーマンのライムに偉そうな態度で接するチェリンの発話を見てみる。

(16)チェリン

知らないならいいのよ。今日はよろしくね。あそこから一階まで落ちるシーンだけだから簡単よ。台本を見る必要はないわ。ただ監督はワイヤーが嫌いな。じゃあ、お願いね。(シークレット 上110)

女性ジェンダ-標示形式を使用し上品な言葉遣いをしているが、その裏にはライムに対する攻撃性が隠れている。そして、恋のライバルとして登場するユンスルは、ライムだけでなく片想いのジュウォンに対しても嫌みを言っている。

(17)ユンスル

(ライムに対して)

あなたの言うとおり、世の中って以外と狭いわ。タメ口だったのに急に謙虚になったわね。(シークレット 上243)

(ジュウォンに対して)

私はジュンさんを誤解していたようだよ。(中略)でも、ホルモンの問題でしょ?まだ私にアタックするチャンスは十分、あるわよ。(シークレット 上280)

次は、ライムと息子の交際に反対するジュウォンの母の発話である。

(18)ジュウォンの母

母さんですって?誰があなたの母親だと言うの?(シークレット 上287)

高卒でも、これが何の意味かは分かるわよね。手切れ金よ。拇印を押して!拒んだら……(シークレット 上347)

こんなみすぼらしい手土産で貧乏をアピールする魂胆は何?この家に露店で売ってるようなミカンをよく持ってこれたわね。(シークレット 下89)

上記の発話では、自分の言うことを聞かないライムに対して、ヒステリックに怒鳴り散らす様子が描かれている。女性ジェンダ-標示形式は使用しているものの、上品さや女性らしさを表しているのではなく、貧しく身寄りのないライムを見下す嫌みな「奥様」のキャラクターがにじみ出ている。ジュウォンの母以外にも、裕福層だというだけでそうでない人に対して攻撃的な言い方をする人物がいる。作品の中で「デンジャン女」と呼ばれるユンスルの友人である。彼女はデパートの職員に対してだけでなく、自分より年上

であるベビーシッターの女性に対しても、普通体を使った発話を行っている。

(19)ユンスルの友人

(デパートの職員に対して)

ラウンジのチェックがずいぶん甘くなった^㉒。ここはVIPのための場所な^㉓。年間購入額が一億ウォン以上^㉔。入り口でIDの確認はしたの？ (シークレット 上19)

(ベビーシッターに対して)

どうしよう、私のバッグ。私のバッグが！おばさん、なぜ、手を放した^㉕!?

あのバッグ、高かったのに……。 (中略) 言い訳なんかしないで。もしかしてさっきのヤツとグルなんじゃないの？ そうに決まってる^㉖。あんたが弁償してよ！ (シークレット 上22)

女性ジェンダ-標示形式を使用しているも、身内でない他者に対して普通体で発話をすることによって、ぞんざいで攻撃的な態度を表し、嫌みなキャラクターだということを読者にわかりやすく伝えている。

③「シークレット」に見られる裕福層の女性たちは、社会経済的条件は良くても個人的人格的素養においては、気取った態度や攻撃的な態度を示す嫌みなキャラクターとして描写されている。発話行為の攻撃性は、女性ジェンダ-標示形式の不使用によって表されると思われがちだが、むしろ積極的に女性ジェンダ-標示形式を使用することでその攻撃性が際立つとも考えられるのではないだろうか。

これまでの分析をまとめると、次のように述べることができる。女性ジェンダ-標示形式は、登場人物の年齢によって使い分けられる傾向があることが分析でわかった。また、女性ジェンダ-標示形式を使用することで、上品さや丁寧さ、正統な育ち、行儀の良さを表し、発話場面によっては嫌みや攻撃性を表す場合もある。一方、女性ジェンダ-標示形式を使用しないことで、老年の女性、身分の低さ、行儀の悪さを表すこともできる。しかし、これらの指標は絶対的なものではなく、作品によって、また発話場面によって異なる場合がある。

以上、四つの作品に登場する女性たちの年齢、社会経済的条件、女性ジェンダ-標示形式の使用とそれによる発話行為の質をまとめると、次の〈表2〉のようになる。

〈表2〉女性ジェンダ-標示形式の使用と発話行為の質

作品	形式の使用	登場人物	年齢	社会経済的条件		発話行為の質
①		長女	若い	作家	庶民	

母を		次女	若い	主婦		上品さ、丁寧さ	
		長男の嫁	若い	主婦			
		養護施設の職員	若い	施設の職員			
	くくく	オンマ	老年	無教養			母親らしさ
		叔母	老年	無教養			
② 懐かし		ユンヒ	若い	教師	庶民	上品さ、丁寧さ	
		ジョンヒ	若い	医者			
		ヘスン	若い	女工			
		ミョンスン	若い	女工			
		ヒョヌの姉	中年	主婦			
		マリー	老年	画家			
		順天おばさん★	中年	主婦		方言がなくなり上品さが加わる	
	ヒョヌの母	老年	主婦	母親らしさ			
③ シークレット		ライム★	若い	スタントウーマン	庶民	ボーイッシュさが無くなる	
		アヨン	若い	デパートの職員			
		チェリン	若い	新人女優	セレブ	嫌み 偉そうな態度 攻撃性	
		ユンスル	若い	CF監督			
		ユンスルの友達	若い	セレブ主婦			
		ジュウォンの母	中年	財閥家の夫人			
④ 太陽を		ヨヌ	若い	兩班家	身分が高い	正統な育ち、行儀の良さ 母親らしさ 母親らしさ、威厳	
	>>>	ヨヌの母	中年				
	くくく	朴氏夫人	老年				
		ミンファ王女	若い	宮中の人		正統な育ち、行儀の良さ 威厳	
		王妃	若い				
		大妃韓氏	中年				
		晞嬪朴氏	中年				
		大王大妃尹氏	老年				
	>>>	ソル	若い	奴婢		身分が低い	剣客らしさ、ボーイッシュさ 身分の低さ 荒っぽさ
		張氏都巫女	老年				
	チャンシル	若い					
	その他の巫女	?					
	下人頭	?					

(*女性ジェンダ-標示形式の常用 、 非常用 ><、 不使用)

〈表2〉を見ると、女性ジェンダ-標示形式の使用有無によって、各人物の発話行為の質が異なることがわかる。①「母を」の長女、次女、長男の嫁のように記述がされていない

い人物には、女性ジェンダ-標示形式の単一的な使用が無標となり、女性だから女性ジェンダ-標示形式を使うという規範が働いている。その他、記述がされている人物の場合は、女性ジェンダ-標示形式を使用することによって表れる発話行為の質が示されており、また、で囲っている部分では、女性ジェンダ-標示形式の不使用によって表れる発話行為の質が示されている。そして、星印(★)が付けられている②「懐かし」の順天おばさんと、③「シークレット」のライムは、単一的な女性ジェンダ-標示形式の使用によって、本来のキャラクターに変化が生じた人物である。次の3.3では、この二人の言葉遣いに焦点を当て、女性ジェンダ-標示形式の常用がキャラクターにどのような変化を与えるのかについて分析する。

3.3 女性ジェンダ-標示形式の常用がキャラクターに与える影響

ここで扱う②「懐かし」の順天おばさんと③「シークレット」のライムは、女性ジェンダ-標示形式を常用する人物である。まず、②「懐かし」の順天おばさんの言葉遣いを、STとTTを比較しながら見てみる。拙稿(2014)では、順天おばさんの言葉遣いについて分析し、STで方言話者として描かれていた人物がTTでは女性文末詞を使用することによって、そのキャラクターに変化が生じたことを述べた。

(20)順天おばさん

ST: 「아따메, 오선생이 요리가요 잉. 맛 좋겠는디.»

「아녀, 해본 소리제. 아침은 진즉에 먹어부렀는디.»

「아이고오, 내 정신 좀 보소. 김칫거리 절여놓고 내동 파죽 맹글라고 잊어불고 있었네. 나는 갈라요.» (오래된 上158)

TT: 「あらまあ、呉先生のお料理ですか？おいしそうね」

「いいえ、言ってみただけですよ。朝はもう食べました」

「あら、私、すっかりしてたね。キムチの下漬けしておいて、薬味のことをすっかり忘れてました。失礼するわね」 (懐かし 上173)

ST: 여그는 아무도 없는갑네. 찌그 뒤에가 살림집인께 나가 글로 가서 으사를 불러볼 참여. 한성생은 여그서 꿈쩍 말고 있으소. (오래된 上301)

TT: ここは誰もいないみたい。後ろが住まいだから、私はそっちへ行って、お医者さんを呼んでくるわ。韓先生はここを動かないで待っててね。 (懐かし 上334)

ST: 아이고오. 느이는 복도 많다. 쫄만 아파도 주사도 맞고 잉. 한선생, 백일기침이나 홍역쫄은 옛날 같으면 암것도 아녀. 아그덜 자람서 차

레차레로 고뿔 들드키 치렀으께. 그게 다 클라고 하는 거여. (오래된
上302)

TT: 本当に^{まあ}、あなたは運がいい^わ。ちょっと具合が悪くなったら、注射も打ってもらえて。韓先生、百日咳やはしかなんか、昔ならなんでもなかった^{のよ}。子供が育ちながらひく風邪と同じだった^の。みんな大きくなるために一度はかかるものな^{のよ}。
(懐かし 上335)

順天おばさんは、ユンヒとヒョヌと一緒に暮したカルメの家の大家であり、隣人としてユンヒを助ける女性である。STでは全羅道訛りの強い人情深い中年女性だが、TTでは女性ジェンダ-標示形式を常用する穏和で上品な女性として描写されている。つまり、方言を捨て標準語をまとうことで女性ジェンダ-標示形式の使用を可能にしているのである。

方言の翻訳に関しては、鄭恵先(2008)でも指摘しているように、TTを方言に翻訳する場合には、翻訳家の感覚と判断に基づいて行われるため、その選択の過程では両言語の方言が持つ普遍的なイメージが強く意識される。②「懐かし」の翻訳家は特定方言への翻訳を選択せず、順天おばさんに標準語を使わせ女性ジェンダ-標示形式を常用させた結果、本来持っていたキャラクターを変化させてしまったのである。このように②「懐かし」では、方言話者に女性ジェンダ-標示形式を常用させることによってSTのイメージとの間にずれが生じているのだが、一方①「母を」の叔母は方言話者でありながら女性ジェンダ-標示形式を使用していない。

(21)叔母

ST: 어째 여그서 기다리고 있을 것만 같아서. (엄마를 178)

TT: なぜかここで帰りを待ってるみたいだった^{だよ}。 (母を 205)

ST: 사람이 어찌 그리되었을꼬……이 몫쓸 사람아. 다른 사람도 아니고
넌편이란 작자가 안사람을 잃어버리고 온단 말인가. 혼자 된 염치로
온단 말인가. (엄마를 178)

TT: どうしてあんな具合になったの^{じゃろうか}……この薄情者。赤の他人ならいざ
知らず、亭主だという男がどこで連れ合いを見失って帰ってくるという^{んだね}。ど
の面下げて、おのれ一人でのこのこ帰ってきたん^{だよ}。 (母を 205)

ST: 이 추운 날 어디를 헤매고 다니는가 모리겠네. (엄마를 247)

TT: この寒空の下で、どこをほっつき歩いてるのやらわからん^わ。 (母を 288)

①「母を」の叔母は全羅道に住む老女で、順天おばさんほどではないにせよ、STのと

ころどころに方言の使用が見られる。また、TTでは、「でよ、じゃろうか、-んわ」など西日本よりの方言に翻訳されている。これを金水(2003)で言う「老人語」と見ることもできるであろうが、叔母の言葉遣いが完全な標準語でないことは確かである。さらに老年の女性という属性が加わって、女性ジェンダ-標示形式は使用せず、「だね、だよ」の他に「かい、かね」などやや男性的な文末詞を使用していることが、上記の分析で確認できた。叔母の場合は、女性ジェンダ-標示形式を使用しないことで、本来のキャラクターに変化が生じなかったことがわかる。

次に、③「シークレット」の主人公ライムについて分析を行う。ライムは、若い女性という属性から単一的に女性ジェンダ-標示形式を常用している。ライムの他の属性を見ると、職業はスタントウーマンであり、つつましい暮らしをしている庶民である。STでは、早くに両親を亡くし自立した女性として、またスタントウーマンという職業柄か、はきはきとしたボーイッシュな感じが表現されている。以下、STとTTを比較してみる。

(22)ライム

ST: 나 이정표 따라서 제대로 들어온 거거든? 갑자기 길이 사라진 걸 어찌라고! 이씨, 자전거도 망가졌어. 이거 비싼 거지? (시크릿 上 158-159)

TT: ちゃんと標識に沿って進んだわよ。そしたら急に道がなくなっちゃったの。マウンテンバイクも壊れちゃったの。これ、高いんでしょ? (シークレット 上222)

ST: 나는 너 만날 때마다 그랬어. 대체 너란 놈의 상식은 어디까지야?
(시크릿 下71)

TT: 私はあんたに会うたびにそんな気分になったわ。どこまで身勝手なの?
(シークレット 下92)

ST: 안 틀려. 니 말 맞아. 언제나 니 말은 다 맞아. 그런데, 그게 다 맞는 말이라는 게 열라 아프다. (시크릿 下72)

TT: いいえ、あんたの言うとおりのわ。いつでも正しいわ。でも、その正しいってことが、ものすごく辛いの。 (シークレット 下94)

上記のSTを見ると、「이씨、놈、열라」など男性の発話に出てくる表現が使われ、ライムという女性が上品で女性らしいキャラクターではないことがわかる。一方、TTでは、ジュウォンに対して「あんた」という対称を使用しているものの、女性ジェンダ-標示形式を使用することで本来のボーイッシュさが失われている。

だが、もしライムに④「太陽を」のソルのような男性的な言葉遣いをさせ、女性ジェンダ-

標示形式を非常用する人物として設定したらどうなるだろうか。筆者の判断では、読者はおそらく違和感を抱くのではないかと考えられる。これには二つの要因が挙げられる。まず一つ目に、ライムの個人的人格的素養が関連している。因(2007)では、韓国漫画の翻訳作品である『ユニ』⁷⁾に登場する女性たちの言葉遣いを分析している。主人公のユニは未婚の母となりスナックを経営しながら自活する女性である。子どもは人手に渡し、水商売という生き方を選び、年長の男性に対してすら一歩も引かずに論争するなど、韓国の伝統的な価値観からすれば承認されない特徴を多く備えている。しかし、その言葉遣いは徹底して女性ジェンダ-標示形式を使用するもので、挑戦的に文句を言う場合も例外ではない。因(2007)によると、これはユニが立派な人格であることと連動しているという。つまり、女性ジェンダ-標示形式が彼女のrespectabilityを保証する装置として働いており、「真つ当な女性は常に女性性を明示する」という信念を強化していると論じている。これは③「シークレット」のライムにも適用させることができるのではないだろうか。ライムは身寄りがなく何の後ろ楯もないながらも、スタントウーマンとしての誇りを持つしっかりした女性である。ユンスルやジュウォンの母をはじめとする富裕層の女性たちが自分を見下しても、決して動じることなく立ち向かっていく。作品の中でライムは、個人的人格的素養の立派な人物として描かれているのである。

二つ目の要因として、言語資源の介在がある。言語資源とは、アイデンティティを表現する材料とみなされた言葉のことである。つまり、女ことばや男ことば、標準語や方言など、特定のアイデンティティと結びついていることが広く社会で認められている言葉遣いを指す(中村、2013: 69-70)。言語資源は私たちがさまざまなメディアから知識として学んだものなのである(前掲: 71)。そして、現在では聞くことが少なくなってきた典型的な女ことばが翻訳作品で使われていても、私たちはおかしいとは思わない。翻訳では実際に使われないような言語資源がそのまま用いられることに、慣れているからである(中村、2007: 50)。「翻訳は単に非日本語を日本語に変換するのではなく、非日本語の声に日本語の声をかぶせることで、翻訳前のテキストとは異なる新しいテキストになる。翻訳後のテキストには、オリジナルとコピーの複数の声が共鳴しているため、私たちが女ことばを不自然に感じないのは、それがオリジナルの声ではなく翻訳だと知っているからなのである。言語資源が暗躍するのは、このオリジナルの声にコピーの声が重ねられる隙間であり、この過程に、意識するしないにかかわらず、翻訳者が知識として持っている言語資源が介在する」と、中村は述べている(前掲: 51)。言語資源は翻訳家だけに限らず、読者が翻訳作品を読む際にも介入する。もし主人公のライムが女性ジェンダ-標示形式ではない、やや男性的な「だい、かい」または「だ、ぜ、ぞ」などの男性文末詞を使用していたら、我々が持っている言語資源の規範から逸脱しているため、反対に違和感を抱くかもしれない。しかしながら、オリジナ

7) 成美江子訳(1995・黄美那)『ユニ』講談社

ルの声を誰よりもよく知っている翻訳家には、オリジナルとコピーとの間に生じる声のずれをできるだけ少なくする役目があるのではないかと、筆者は考えている。翻訳家は読者の言語資源に配慮すべきなのか、それともオリジナルの声に耳を傾けるべきなのか、これは言語差による翻訳の限界という点だけでなく、翻訳家自身の言語資源の活用と選択に関わる問題だと言えるのではないだろうか。

4. まとめと今後の課題

本稿では、韓国小説を日本語に翻訳した4種の作品を対象にし、その中に登場する女性たちの言葉遣いについて分析を行った。韓国語にはほとんど表れない女性ジェンダ-標示形式が日本語の翻訳作品ではどのように使用され、作品の中でどのような機能をし、女性ジェンダ-標示形式の選択にはどのような要因があるのかを考察した。

まず、女性ジェンダ-標示形式の使用状況を見ると、常用、非常用、不使用の三つに分類することができる。作品によっては、全ての女性に女性ジェンダ-標示形式を常用させている場合もあれば、年齢や社会経済的条件および個人的属性によって使用させない場合もある。また、登場人物の属性や発話場面によって選択的に使い分ける非常用も見られる。

次に、女性ジェンダ-標示形式の機能と選択要因について分析を行った。選択要因には大きく、年齢、上品さと丁寧さ、正統な育ちと行儀の良さ、発話行為の攻撃性を挙げることができる。年齢においては、若年から中年までの女性は女性ジェンダ-標示形式を常用し、老年の女性は使用しない傾向がある。また、若年であってもボーイッシュな性格や身分が低いという属性を持つ場合は、使用に選択性が見られ、聞き手や心的状況によって使い分けを行っていることがわかった。次に、女性ジェンダ-標示形式の使用には女性らしさという規範が働いているが、これにさらなる加工を加えることによって、より上品で丁寧な人物像が表現できる。特に「お嬢様ことば」と呼ばれる言葉遣いは、現代を舞台にした作品よりも時代物に登場する人物に使わせることで、そのキャラクターが生き生きとしてくる。また、女性ジェンダ-標示形式の使用には、正統な育ちと行儀の良さを表す指標が働いたり、逆に上品な言い方ではあるが聞き手に対する攻撃性が含まれている場合もある。このように女性ジェンダ-標示形式の使用がキャラクターを特徴付けるのに何らかの機能をし、その選択要因によっても発話行為の質が異なることがわかった。

しかし、女性ジェンダ-標示形式を単一的に常用させることによって、キャラクターに変化が生じる場合もある。方言話者をどう翻訳するのか、また女性は女性らしい言葉遣いをするという言語資源の介入をどう調節するのか、これは翻訳家に課せられた課題だと、筆者は

考えている。

以上、韓国小説の日本語翻訳に見られる女性登場人物の言葉遣いについて分析した結果をまとめた。今後の課題として、女性ジェンダ-標示形式の使用とともに丁寧体と普通体の使い分け、また聞き手や発話場面に応じた人称の使い方などについて分析を行ってきたい。

【参考文献】

- 尾崎喜光(1997)「女性専用の文末形式のいま」現代日本語研究会(編)『女性の言葉・職場編』ひつじ書房 pp.33-58
- 郭銀心(2014)「小説『오래된 정원』の日本語翻訳に見られる女性人物像の表現について-女性文末詞の使用を中心に-」『日本語学研究』42 韓国日本語學會 pp.39-55
- 金水敏(2003)『ヴァーチャル日本語 役割語の謎(もっと知りたい!日本語)』岩波書店 p.170
- 小林美恵子(1993)「世代と女性語」『世界の女性語・日本の女性語』日本語学臨時増刊号 明治書院 pp.181-192
- 因京子(2007)「翻訳マンガにおける女性登場人物の言葉遣い-女性ジェンダ-標示形式を中心に-」『日本語とジェンダ-』7 日本語ジェンダ-学会 pp.1-13
http://www.gender.jp/journal/no7/02_chinami.html
- 鄭恵先(2005)「日本語と韓国語の役割語の対照：対訳作品から見る翻訳上の問題を中心に」『社会言語科学』8(1) 社会言語科学会 pp.82-92
- 中島悦子(1997)「疑問表現の様相」現代日本語研究会(編)『女性の言葉・職場編』ひつじ書房 pp.59-82
- 中村桃子(2007)『〈性〉と日本語-ことばがつくる女と男-』NHKブックス pp.50-51
- _____ (2013)『翻訳がつくる日本語(ヒロインは「女ことば」を話し続ける)』白沢社 pp.69-71
- マグローイン・花岡直美(1997)「終助詞」『女性語の世界』明治書院 pp.33-41
- 水本光美(2005)「テレビドラマにおける女性言葉とジェンダ-フィルター-文末詞(終助詞)使用実態調査の中間報告より-」『日本語とジェンダ-』5 日本語ジェンダ-学会 pp.1-20 http://www.gender.jp/journal/no5/3_mizumoto.html

_____ (2006) 「テレビドラマと実社会における女性文末詞使用のずれにみるジェンダーフィルター」 日本語ジェンダー学会(編) 『日本語とジェンダー』 ひつじ書房 pp.73-94

_____ (2010) 「主張度の高い女性文末詞使用の変遷-4世代にわたる調査分析-」 『基盤教育センター紀要』 6 北九州市立大学 pp.129-150

水本光美・福盛寿賀子・高田恭子(2008) 「ドラマに使われる女性文末詞-脚本家の意識調査より」 『日本語とジェンダー』 8 日本語ジェンダー学会 pp.1-17

http://www.gender.jp/journal/no8/02_mizumoto.html

山路奈保子(2006) 「小説における女性形終助詞「わ」の使用」 『日本語とジェンダー』 6 日本語ジェンダー学会 pp.1-11

<http://www.gender.jp/journal/no6/03yamaji.html>

要 旨

本稿では、韓国小説を日本語に翻訳した4種の作品を対象にし、その中に登場する女性たちの言葉遣いについて分析を行った。韓国語にはほとんど表れない女性ジェンダ-標示形式が日本語の翻訳作品ではどのように使用され、作品の中でどのような機能をし、女性ジェンダ-標示形式の選択にはどのような要因があるのかを考察した。

まず、女性ジェンダ-標示形式の使用状況を見ると、常用、非常用、不使用の三つに分類することができる。作品によっては、全ての女性に女性ジェンダ-標示形式を常用させている場合もあれば、年齢や社会経済的条件および個人的属性によって使用させない場合もある。また、登場人物の属性や発話場面によって選択的に使い分ける非常用も見られる。

次に、女性ジェンダ-標示形式の機能と選択要因について分析を行った。選択要因には大きく、年齢、上品さと丁寧さ、正統な育ちと行儀の良さ、発話行為の攻撃性を挙げることができる。まず、年齢においては、若年から中年までの女性は女性ジェンダ-標示形式を常用し、老年の女性は使用しない傾向がある。次に、女性ジェンダ-標示形式の使用には女性らしさという規範が働いているが、これにさらなる加工を加えることによってより上品で丁寧な人物像が表現できる。また、女性ジェンダ-標示形式の使用には、正統な育ちと行儀の良さを表す指標が働いていたり、逆に上品な言い方ではあるが聞き手に対する攻撃性が含まれている場合もある。このように女性ジェンダ-標示形式の使用がキャラクターを特徴付けるのに何らかの機能をし、その選択要因によっても発話行為の質が異なることがわかった。

しかし、女性ジェンダ-標示形式を単一的に常用させることによって、キャラクターに変化が生じる場合もある。方言話者をどう翻訳するのか、また女性は女性らしい言葉遣いをするという言葉資源の介入をどう調節するのか、これは翻訳家に課せられた課題だと、筆者は考えている。

今後の課題として、女性ジェンダ-標示形式の使用とともに丁寧体と普通体の使い分け、また聞き手や発話場面に応じた他称の使い方などについて分析を行っていきたい。

キーワード：韓日翻訳、女性ジェンダ-標示形式、単一的使用、登場人物の年齢、社会経済的状況、個人的人格的素養、発話行為の質、言語資源の介入

투 고 : 2014. 11. 30
1차 심사 : 2014. 12. 13
2차 심사 : 2015. 1. 3